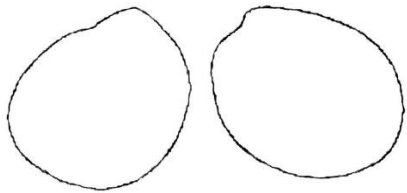


難聴児補聴器購入費等助成金交付意見書（6歳以上）

氏名		男・女	年 月 日生（ 歳 ）
住所			
障がいの種類	<input type="checkbox"/> 伝音性難聴 <input type="checkbox"/> 混合性難聴 <input type="checkbox"/> 感音性難聴 <input type="checkbox"/> その他 ()		オーディオグラム 聴力検査 <input type="checkbox"/> 聴力純音 <input type="checkbox"/> その他 ()
	聴力	右 d B 左 d B	年 月 日実施 オーディオメーターの型式 ()
補聴器の装用効果	右 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 左 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
補聴器の種類 (処方)	1. 補聴器の種類		
	<input type="checkbox"/> 耳かけ型 <input type="checkbox"/> その他の型式 ()		
	選定理由		
	装用耳	<input type="checkbox"/> 右 <input type="checkbox"/> 左 <input type="checkbox"/> 両	
	イヤ モールド	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要	
	2. 現在までの補聴器装用の有無		
右	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
左	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
現在までの障がいの状況（治療の内容、期間、経過）・意見をご記入ください。		耳鼻疾患の有無及び障がいの状況	
			
1 意見書の記載は身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第1項に規定する医師に限る。 2 法令の規定に基づく支給等を優先して受けるよう取り扱うこととする。			
上記のとおり意見する。 年 月 日 所在地 医療機関名 医師氏名			

※意見書を作成する上での留意点につきましては、裏面をご覧ください。

難聴児補聴器購入費助成金交付意見書作成上の留意点

<対象児>

次の要件をすべて満たす18歳未満の難聴児とする。

- ・大分市内に住所を有していること。
- ・両耳の聴力レベルが30dB以上で、法令の規定に基づく補聴器の交付対象とならないこと。
- ・補聴器の装用により、言語の習得等一定の効果が期待できると医師が判断するもの。

聴力

気導・骨導聴力をご記入ください。

補聴器の種類（処方）

原則両耳装用です。片耳装用の場合は、理由を記載してください。

40～70dBの難聴に対応できる補聴器

※上記はおおよその目安であり、聴力型や試聴の結果などによって適応は異なるため、適合状況の確認をお願いします。

片耳装用の場合

- ・装用効果欄に左右それぞれの装用効果の記載をお願いします。
- ・意見欄に片耳処方の理由と片耳装用での効果の記載をお願いします。

ポケット型、耳かけ型、耳あな型

- ・耳かけ型以外の処方の場合は理由を記載してください。

(参考) 支給対象者

耳かけ型	職業上又は教育上真に必要な者。
耳あな型	ポケット型及び耳かけ型の補聴器の使用が困難で真に必要な者。特に、オーダーメイドは、障がいの状況、耳の形状等レディメイドで対応不可能な者。
骨導式	原則として、伝音性難聴であって耳漏が著しい者又は外耳閉鎖症等を有する者で、かつ耳栓又はイヤモールドの使用が困難な者。

イヤモールド

- ・既製の耳栓ではハウリングが発生する等、必要な場合に処方をお願いします。

障がいの状況・意見

- (1) 中耳炎等疾病が見られる場合、その旨記入をお願いします。
- (2) その他、留意すべき事項もこの欄に御記入ください。

検査結果

- (1) 補聴器の調節の目安になりますので、正確に記入してください。

※不明な点は障害福祉課（097-537-5786）までお問い合わせください。